

# 願いを込めて10万尾を放流

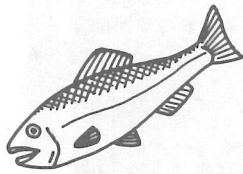
## サケの帰る川「栗山川」

水産資源の確保と栗山川の環境美化運動の一環として、毎年サケの稚魚の放流（約10万尾）が行われていますが、その一部10万尾が3月14日、横芝小学校、上堺小学校、白浜小学校（光町）の5年生188名の手で、栗山川横芝堰から放流されました。

その昔、淡水漁業でにぎわいをみせていた栗山川も時代とともに汚れが進み、水面をはねる魚たちの数も年を追うごとに減少。かつては関東以北のどの川でも見られていた「うろこをきらめかせながら川を遡るサケの姿」も全く見られなくなってしまう。そこで当時の関係者は「きれいな川にしか棲めない」といわれているサケが、帰ることができるような川にしたいと浄化運動を展開し、昭和51年に初めてサケの稚魚を放流しました。当初は、本当に帰って来るかどうか心配したそうですが、昭和55年、最初に帰りが確認された時には、関係者はもとより町民全員が大変喜んでいました。



「無事に帰ってきてね」子どもたちは願いを込めて稚魚を放流

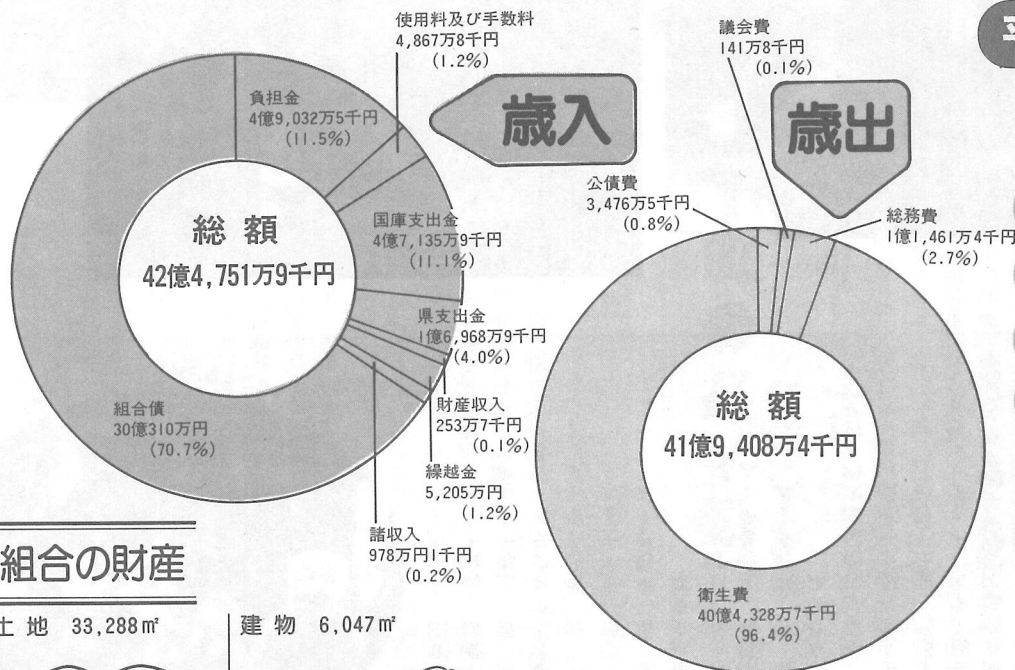


その後は毎年この時期に放流が行われ、帰帰する数は多少の変動はあるものの安定しており、平成8年のその数は782尾にのぼりました。今年放された稚魚が3、4年後にたくさん帰帰できるように、私たち一人ひとりが栗山川を汚さないよう心掛けたものです。

### 平成7年度

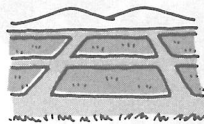
## 山武郡環境衛生事業 振興組合

### 歳入歳出決算

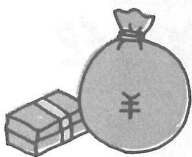


### 組合の財産

土地 33,288㎡



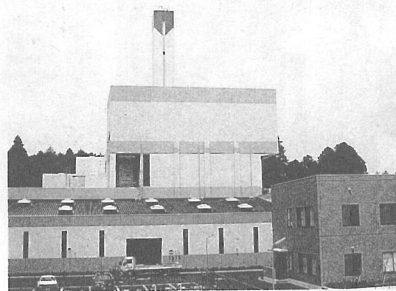
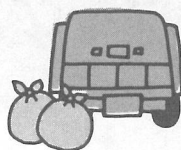
基金 1億1,140万円



建物 6,047㎡



車輛 7台



一般会計の決算状況は、歳入総額42億4,751万9千円、歳出総額41億9,408万4千円で、差引き5,343万5千円となり、翌年度に繰越しました。収支額の前年度比較では、ごみ処理施設建設工事に伴い、歳入265.9%、歳出271.3%の増となっております。